

令和元年度久慈市社会福祉協議会事業報告

■ 事業の概要

令和元年度は、基本方針に掲げた「地域での支えあい活動の推進」、「久慈地域成年後見センター事業」、「生活支援・介護予防体制整備事業」「生活困窮者自立相談支援事業」を重点事業に、久慈市をはじめ関係機関・団体と連携を図りながら地域住民の参加・協力を得て、子どもから高齢者まで幅広く事業を展開しました。特に、令和元年台風第19号による災害においては、久慈市等関係機関と連携しながら災害ボランティアセンターを設置し、被災された方が早期に平常時の生活に戻れるよう支援活動に努めました。

そのほか、児童生徒を対象とした福祉教育の推進に努めたほか、指定管理者受託事業（1年目「指定期間5年」）においては、「福祉の村」等の施設管理や自主事業の実施など、これまでの実績をふまえ、改善を図りながら事業を推進しました。

以下、主な事業内容は次のとおりです。

1 会の運営

(1) 理事会4回、評議員会1回、定例監査、出納調査3回、評議員選任・解任委員会1回を開催し、適正な法人運営に努めました。

① 理事会

回	期 日	内 容
第1回	6月6日	<ul style="list-style-type: none">会長の職務執行状況について平成30年度事業報告の承認について平成30年度資金収支決算の承認について定款の一部変更について役員候補者の推薦について令和元年定時評議員会の開催について
第2回	6月25日	<ul style="list-style-type: none">会長、副会長の選定について
第3回	12月20日	<ul style="list-style-type: none">会長の職務執行状況、主要行事及び予算執行状況（4月～9月）の報告について令和元年度資金収支補正予算（第1号）について評議員の補充選任にかかる候補者の推薦について第1回評議員選任・解任委員会の招集について
第4回	3月26日	<ul style="list-style-type: none">嘱託職員の取扱いに関する規程の一部改正について令和元年度資金収支補正予算（第2号）について令和2年度事業計画について令和2年度資金収支予算について

② 評議員会

回	期 日	内 容
第 1 回 (定時)	6 月 21 日	<ul style="list-style-type: none"> 平成 30 年度事業報告の承認について 平成 30 年度資金収支決算の承認について 定款の一部変更について 役員を選任について

③ 監査・出納調査

監査等	期 日	内 容
定例監査	5 月 15 日	平成 30 年度事業及び資金収支決算事項
出納調査	8 月 7 日	4 月～6 月までの資金収支執行状況
	11 月 13 日	7 月～9 月までの資金収支執行状況
	2 月 6 日	10 月～12 月までの資金収支執行状況

※ 令和元年度 1 月～3 月までの資金収支の執行状況は令和 2 年 5 月 13 日に定例監査を実施。

④ 評議員選任・解任委員会

回	期 日	内 容
第 1 回	1 月 15 日	評議員の補充選任について

(2) 執行理事会を開催し、円滑な運営に努めました。(10 回)

(3) 行政連絡区長に福祉委員を委嘱し、社協会費の取りまとめや社協だよりの配布などに協力いただいたほか、連携を図りながら福祉活動を推進しました。

(4) 各世帯からの一般会費、福祉施設・団体からの特別会費、民生委員・社協役員からの賛助会費の納入協力を得て、福祉活動財源の確保に努めました。

会費種別	元年度		前年度比較	
	件数	金額 (円)	件数	金額 (円)
一般会費	10,233	10,232,400	△48	△47,800
特別会費	64	129,000	△ 2	△ 3,000
賛助会費	150	182,000	△ 1	△ 1,000

(5) 各種研修会に積極的に参加し、役職員の資質向上に努めました。

(6) 社会福祉法人制度改革に伴う経営組織のガバナンス強化、財務規律の強化、事業運営の透明性の向上に努めました。

2 施設の管理運営

(1) 総合福祉センター及びチャレンジランドの管理運営にあたっては、施設や設備の維持管理のほか各種事業の実施、広報等による利用情報の提供により利用促進に努めました。

また、福祉の村、屋内温水プール及び山形老人福祉センターの指定管理者として、施設及び設備の維持管理のほか自主事業を実施し、利用促進に努めたところであります。

(2) 施設の利用状況

① 総合福祉センター利用状況

区 分	利用人数	前年度比較
講堂	8,101名	△501名
研修室	3,911名	△116名
多目的ルーム	4,572名	251名
調理実習室	552名	351名
憩いの間	1,341名	391名
浴室	549名	△146名
ボランティアルーム	1,075名	384名
ティーラウンジ	2,057名	△943名
健康増進コーナー	45名	△44名
合 計	22,203名	△373名

② 福祉の村、温水プール利用状況

区 分	利用人数	前年度比較
温水プール	32,245名	△2,819名
茶室	1,364名	△336名
野外ステージ	554名	△16名
野外(イベント・遊具等)	8,800名	4名
合 計	42,963名	△3,167名

③ チャレンジランド利用状況

区 分	利用人数	前年度比較
チャレンジランド	2,497名	△111名
合 計	2,497名	△111名

④ 山形老人福祉センター利用状況

区 分	利用人数	前年度比較
山形老人福祉センター	6,721名	922名
合 計	6,721名	922名

(3) 指定管理自主事業

① 福祉の村

期日等	事業名	内 容	参加者数	前年度比較
6月23日	高校生茶道講習会	・講話「お茶の歴史について」 ・調理実習「和菓子作り」 ・実技「立ち居振る舞い」	29名	△13名
6月16日～ 2月16日(11回)	子ども生け花教室	・生け花の歴史 ・生け花創作	延べ 113名	19名
6月16日～ 11月10日(12回)	子ども茶道教室	・礼儀作法、お茶・お菓子の 頂き方等	延べ 261名	△36名

※ 3月の子ども生け花教室は、新型コロナウイルス感染予防のため中止した。

② 屋内温水プール

期日等	事業名	内容	参加者数	前年度比較
4月～3月 (延べ385回)	ショートプログラム	・対象者：一般（18歳以上） ・30分間の教室。スイムレッスン、アクアサーキット、楽々ウォーキング、インターバルウォーキング	延べ 1,985名	△171名
4月～3月	ファミリー割引 入場券	・対象者：小学生以下1名と 保護者（18才以上） ・通常800円を500円で入場	1,568名 (購入784名)	324名
4月～3月	1ヵ月シニア フリーパス券	・対象者：一般（60歳以上） ・金額4,000円 ・購入日を含む30営業日有効	977名 (購入101名)	△681名
10月27日	無料開放	・対象者：市民 (福祉まつりに合わせた無料開放「福祉まつりは中止」)	53名	△316名

※ 例年3月に開催しているチャンピオンカップ（水泳記録会）は新型コロナウイルス感染予防のため中止した。

③ 山形老人福祉センター

期日	事業名	内容	参加者数	前年度比較
7月18日	生きがいつくり教室①	お家でできる美容カイロ	22名	9名
8月7日	昔遊び教室	世界に一つだけのコマを作ろう	29名	新規
9月10日～ 11月6日	趣味創作講座（11回）	ハーバリウム	105名	37名
11月21日	ニュースポーツ交流会	カローリング、シャッフルボード	26名	12名
12月18日	いきいき料理教室	そば作り	20名	8名
1月15日	生きがいつくり教室②	昔語り	22名	△16名
2月19日	生きがいつくり教室③	シニアスマホ教室	16名	—
3月18日	健康づくり教室	認知症予防運動	中止	

3 地域福祉事業の推進

(1) 久慈市からの補助を受け、福祉活動専門員1名を配置し、地域福祉事業を推進しました。

(2) 地域での支えあい活動の推進

平成27年度に策定した第2期久慈市地域福祉計画及び社協地域福祉活動計画に基づき、久慈市や町内会等自治組織と連携を図りながら、地域での支えあい活動を推進しました。

① 地域福祉講演会の開催（久慈市社会福祉大会にあわせて開催）

・講演 「20年後の久慈市は？～いま行動すべきこと～」

講師 広田純一氏

(岩手大学農学部教授/NPO法人いわて地域づくり支援センター代表理事)

・参加者 262名

- ② 支えあい活動情報の提供
- ③ ふれあいサロン実施への支援

サロンの立ち上げや実施内容について連絡調整を行ったほか、共同募金等による活動費助成の情報提供と申請手続きを支援しました。

ア 実施に係る費用の一部助成（1月：上限2千円）

年度	サロン数	参加者数 (延べ)	内、ボランティア数 (延べ)	実施回数	実施月数
元年度	94ヶ所	13,790名	1,962名	1,231回	941月
前年度比較	△5ヶ所	△463名	△122名	△29回	△64月

イ 訪問相談対応（16ヶ所「前年度比較△24ヶ所」）

ウ 物品（輪投げ等）の貸出（16件「前年度比較△1件」）

エ ボランティア行事用保険の加入助成（32件「前年度比較3件」）

オ 活動費助成の情報提供

（提供回数2回「前年度比較±0件」、申請手続き支援（5件「前年度比較±0件」）

カ ふれあいサロンの集いの実施

情報提供及び情報交換の場として、市内全域を対象としたふれあいサロンの集いを実施しました。（参加者89名（内、久慈市57名））

キ 地区ふれあいサロンの集いの実施

地区での情報交換の場として、地区ふれあいサロンの集いを実施しました。

（実施地区：侍浜、小久慈・山根、夏井、山形 参加者延べ117名）

- ④ 住民支えあいマップづくりの情報提供

（提供回数1回「前年度比較△1件」、作成支援0件「前年比較△1件」）

- ⑤ 町内会等による除雪要支援世帯に対する除雪支援活動への助成

高齢や障がい等により自力で除雪をすることが困難な世帯に対して、町内会等の団体が行う除雪支援活動に助成しました。

登録団体：9団体（内、2団体に15,000円助成）

(3) 広報活動の実施

- ① 社協だより「しあわせSUN」の発行（全戸配布4回）

- ② ホームページによる情報提供（随時更新）

- ③ 声の広報事業の実施

朗読ボランティアによる「声の広報」事業は、広報くじ、議会だより、社協だより等をデジタル録音し、視覚障がい者を対象に毎月2回無料でコンパクトディスクを貸し出しました。（24回発行、利用者延べ168名「実利用者7名」、朗読ボランティア延べ135名「実ボランティア数7名」）

(4) 心配ごと相談所の設置運営

毎週月曜日から金曜日まで、常設相談所を開設し各種相談活動を実施するとともに、相談内容に応じた福祉サービス情報を提供しました。

【分野別相談件数 ※()内は前年度比較件数】

生 計	年 金	職業・生業	住 宅	家 族	結 婚	離 婚
218(△27)	0(0)	0(△1)	8(5)	0(0)	0(0)	0(0)
健康・衛生	医 療	精神保健	人権・法律	財 産	事 故	児童・ 母子保健
0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
教育・ 青少年	心身障が い者福祉	母子・ 父子福祉	老人福祉	苦 情	その他	合 計
0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	2(0)	228(△23)

※対応日数 240日

(5) 久慈市社会福祉大会の企画・運営

大会委員会を設置し企画・運営を行い、11月20日に大会を開催し多年にわたり社会福祉の発展に寄与された個人及び団体を表彰しました。(参加者：262名)

表 彰 種 別		人数等
久慈市長表彰	民生委員・児童委員	1名
	社会福祉事業功労者	2名
	広く社会に顕彰する者	3名、1団体
久慈市社協会長表彰	社会福祉事業功労者	7名
	ボランティア活動功労者・団体	2団体
	共同募金運動功労者	12名
	褒賞（在宅介護者）	6名

(6) 岩手県社会福祉大会への参加

11月1日、岩手県民会館において開催された、第72回岩手県社会福祉大会の席上で多年にわたり社会福祉の発展に功績のあった方々が表彰されました。

表 彰 種 別		人数等
岩手県知事表彰	社会福祉団体の役員	1名
	社会奉仕功労者並びに団体	1名、1団体
	感謝状（在宅介護者）	2名
岩手県社会福祉大会長表彰	社会福祉事業功労者	2名
	ボランティア活動功労者、団体	4団体
	共同募金運動功労者、団体	6名
	永年勤続功労者	7名
	褒賞（在宅介護者）	4名

(7) 歳末たすけあい運動の実施（民生児童委員協議会と協働実施）

配分対象者調査を実施し、対象者1人あたり4,000円の義援金を贈りました。

区 分	人 数		金 額
	元年度	前年度比較	
要介護高齢者（65歳以上）	27名	△11名	108,000円
一人暮らし高齢者（75歳以上）	465名	20名	1,860,000円
1級・2級身体障がい児者	128名	△15名	512,000円
知的障がい児者	72名	±0名	288,000円
1級・2級精神障がい者	70名	△5名	280,000円
合 計	762名	△11名	3,048,000円

(8) 障がい者の社会参加及び自立支援への取り組みの推進

久慈地域障害者自立支援協議会運営会議の構成団体として参画し、関係機関と連携しながら久慈地域の障害者支援の充実に向けて取り組みました。（会議出席8回）

(9) 介護機器貸し出し事業の実施

在宅の要介護高齢者や障がい者等の日常生活を支援するため、介護用ベッド、車椅子等を設備し、無料で貸し出しました。【貸出件数 ※（ ）内は前年度比較件数】

① 本所

介護用ベッド		車椅子		その他（杖等）	貸出延べ件数合計
保有数	貸出延べ件数	保有数	貸出延べ件数		
37(△3)	117件(△62件)	74(△11)	258件(12件)	93件(2件)	468件(△48件)

② 山形事務所

介護用ベッド		車椅子		その他（杖等）	貸出延べ件数合計
保有数	貸出延べ件数	保有数	貸出延べ件数		
—	—	13(±0)	9件(1)	—	9件(1)

(10) 久慈市民生児童委員協議会活動の支援

活動費の一部助成のほか、民児協事務局として各種事業を推進するとともに、歳末たすけあい運動や地区定例会など社協と民児協が連携した事業の実施により、民児協活動を支援しました。

(11) 久慈市老人クラブ連合会活動の支援

活動費の一部助成のほか、市老連事務局として各種事業を推進するとともに、シニアスポーツ大会や白樺大学など社協と市老連が連携した事業の実施により、市老連活動を支援しました。

(12) 福祉団体等の活動支援

活動費の一部助成のほか、活動の助言指導や連絡調整等を行い、各団体の活動を支援しました。

4 地域活動支援センターチャレンジランドの運営

障がいのある人達の生活を支援する施設「チャレンジランド」において、週3回「地域活動支援センターチャレンジランド事業」を実施し、利用者の立場に立ったサービスの提供に努めました。（延べ140回開催、利用者延べ1,234名「実利用者9名」）

5 「しあわせSUN つどいの広場」の運営

久慈市より委託を受けて、楽しみと安全な遊び場を提供し、子育て親子が気軽につどい語り合えるよう各種講習会などのイベントを開催し、親の育児負担の緩和、仲間作りの強化を図りました。

- ① 子育て親子の交流・集いの場の提供（延べ304日開設）
- ② 保育士による相談会「つどいの会」の開催（9回、参加者延べ15名）
- ③ 情報紙「SUNSUNひろばだより」の発行（36回発行）
- ④ 子育て支援講習「SUNSUNひろば」の開催（12回開催、参加者延べ87名）
- ⑤ 絵本の読み聞かせ会「よんで!よんで!!」の開催（12回開催、参加者延べ49名）
- ⑥ 親向け講習会「パパ・ママゆとりタイム」の開催（1回開催、参加者6組）
- ⑦ おもちゃリサイクル販売「おもちゃマーケット」の開催（3回、来場者延べ638名）
- ⑧ どんぐり工房による喫茶コーナーの設置・運営（37回開設、利用者延べ329名）

【利用状況】 (人数は一部再掲)

区分	元年度	前年度比較
親子等利用者	2,409名	△945名
一般入場者等	3,472名	△930名
合計	5,881名	△1,875名

※ 職員体制の変更に伴い、開所時間を3時間短縮した。

6 ボランティア活動事業の推進

- (1) 地域福祉活動コーディネーターを設置し、関係機関と連携を図りながらボランティア活動や地域福祉活動を推進しました。

- (2) ボランティア活動センターの設置運営

ボランティア活動センターを設置し、ボランティア団体やボランティア連絡協議会と連携した事業の推進により、ボランティアの育成支援を図りました。

- ① ボランティア活動センター運営委員会の開催（2回）
- ② ボランティア登録の状況

年度等	登録団体数	登録者数
元年度	38団体	1,764名
前年度比較	±0団体	26名

- ③ ボランティア活動の連絡調整
(延べ230件「前年度比較△7件」、896名「前年度比較△76名」)
- ④ ボランティア活動資材の貸出
(本所：延べ46件「前年度比較△10件」、山形事務所：延べ8件「前年度比較△14件」)
- ⑤ 活動費助成の情報提供
(提供回数2回「前年度比較±0件」、申請手続きの支援5件「前年度比較±0件」)
- ⑥ ボランティア団体実態調査の実施（37団体）
- ⑦ ボランティア保険の加入促進及び保険料の助成
ボランティア活動センター登録者（希望者）にボランティア活動保険掛金の一部を助成（1人150円）し、保険の加入促進に努めました。（450名に助成）
- ⑧ 地域ボランティア活動助成事業の実施
福祉基金の利息を活用して、地域住民の生活を支援するボランティア活動や子ども達が参加するボランティア活動に助成し活動を支援しました。
(助成団体5団体、助成総額444,000円)

⑨ 手話入門教室の開催

ボランティア養成のため、手話サークル輪っこの会と共催で開催しました。

期 日	講 師	内 容
7月25日～ 8月29日 (5回)	手話サークル輪っこの会 櫻庭千里 氏、高屋敷真喜子 氏 向川絵理子 氏	・参加者延べ61名（前年度比較39名） ・手話の表現方法、挨拶、交流会、聴覚障がいについて等

⑩ あんしんお手伝い教室の開催

基礎的な介護の知識や技術の学習を通し、あんしんサポート協力会員の育成と地域で暮らす高齢者等への理解を深める教室を開催しました。

期 日	内 容	参加者数
2月20日	・講義 認知症サポーター養成講座（認知症高齢者への対応・接し方について等） 講師 久慈市地域包括支援センター職員 ・講義 介護保険の現状と利用できるサービス等について 講師 久慈市地域包括支援センター 地域包括支援係長 古屋敷 和子 氏	17名 (前年度比△3名)

⑪ 友愛はがき事業の実施

一人暮らし高齢者（75名）を対象に、月1回ボランティアのハガキによる友愛活動を実施しました。（ボランティア延べ669名）

(3) 災害ボランティアセンターの開設運営

10月12日に発災した令和元年台風第19号による災害において、久慈市等関係機関と連携しながら、災害ボランティアセンターを設置し、ボランティア派遣など被災世帯の生活復旧支援に努めたほか、災害ボランティアセンター運営マニュアルの更新をしました。

① 開設期間 10月15日～11月17日（ボランティア派遣日数 27日）

② ボランティアの登録状況

区 分	個 人	団 体
市 内	74名	9団体
県 内	97名	18団体
県 外	128名	15団体
合 計	299名	42団体

③ 活動状況

受付・完了ニーズ 132件（泥の除去、家具等の移動、ゴミ・土のう袋の運搬等）

活動件数 249件

実働ボランティア数 1,779名（個人520名、団体1,259名）

(4) ボランティア連絡協議会活動の支援

活動費の一部助成のほか、社協とボランティア連絡協議会が連携した事業の実施により、活動を支援しました。

(5) あんしんサポート事業の実施

日常の家事に困っている方や介助が必要な方に対して、有償ボランティアによる家事援助サービスを提供しました。

年度等	利用会員数	協力会員数	利用件数 (延べ)	活動時間 (延べ)	主なサービスの 内容
元年度	192名	31名	733件	1,281時間	掃除、買い物、通
前年度比較	20名	△4名	32件	124時間	院介助、草取り等

(6) 福祉施設ふれあいサロン実施の支援

福祉施設の持つ機能を活用して実施する福祉施設でのふれあいサロンに、ボランティアを派遣するなど実施を支援しました。

地区	場所	回数	派遣ボランティア数
門前	門前保育園	3回	3名
川貫	川貫保育園	2回	2名
小袖	小袖保育園	3回	6名

(7) 福祉バザーの開催

期日	内容	来場者
11月23日	・台風第19号により、ふれあい福祉まつりを中止したことから、福祉バザーのみ開催。 ・益金155,010円（共同募金と東日本大震災久慈市地震災害義援金へ寄付）	330名

7 福祉教育の推進

保育園、小中高等学校、地域やボランティア団体、社会福祉法人等と連携して、子ども達が主体となるボランティア活動や交流・体験活動の場を提供し、次代を担う子ども達の「福祉のこころ」を育む事業を推進しました。

(1) 鯉のぼりフェスティバルの開催

児童の健全な育成を願い、4月24日に市内14保育園227名の協力を得て、市民から寄付された鯉のぼり約50匹を福祉の村に掲揚しました。

（掲揚期間中4/25～5/16の来場者1,913名）

(2) 寺子屋合宿の開催

ボランティア体験や異世代交流を通して、思いやりの心を育むことを目的に1泊2日の体験合宿を開催しました。

期日	場所	内容
8月3日～4日	慈光寺	・参加者：小学生45名（前年度比較△3名） 高校生等ボランティア32名（前年度比較△6名） ・内容：カレーコンテスト、朝勉強、災害時の炊き出し体験等

(3) 福祉作文コンクールの実施

児童・生徒の福祉意識の高揚を図る福祉作文コンクールを実施し、最優秀作4編、優秀作4編、佳作8編の入選者を久慈市社会福祉大会において表彰しました。

区分	応募数	区分	応募数
小学校低学年の部	6編	中学校の部	17編
小学校高学年の部	17編	高等学校の部	5編
合計			46編

(4) 福祉教育出前講座の実施

小中学生等を対象に、障がい者や高齢者に対する知識と理解を深め、思いやりの心を育む福祉教育出前講座を実施しました。

内 容	実施校数	講 師
キャップハンディ体験（車いす）	小学校 10	社協職員・天神会・琥珀会・修愛会・事業団・慈恵会・障がい者観光サポーターの会
キャップハンディ体験（アイマスク・白杖）	小学校 12	社協職員・天神会・琥珀会・修愛会・事業団・慈恵会・障がい者観光サポーターの会
高齢者疑似体験	小学校 5	社協職員・天神会・慈恵会・事業団・障がい者観光サポーターの会
ユニバーサルデザイン学習	小学校 1	社協職員、障がい者観光サポーターの会
点字体験	小学校 2	点字サークル会員
手話体験	小学校 3	振興局ろうあ者相談員

(5) キャップハンディ指導者養成講座の実施

福祉教育出前講座の指導技術及びその効果を高めることを目的に実施しました。

期 日	講 師	内 容
7月18日	ユニバーサルサービス (US) 倶楽部 代表 佐藤 裕弥 氏	・参加者 24 名 ・キャップハンディ体験指導者ワンポイント講座（車いす・白杖・シニア体験）

8 貸付事業の推進

岩手県社会福祉協議会が実施する生活福祉資金事業の委託を受け、所得の不安定な世帯、障がい者世帯の自立支援のため貸付相談や事務手続きを行ったほか、緊急に資金が必要になった世帯に対し、5万円を限度にたすけあい資金の貸付を行いました。

（生計に関する相談対応件数:延べ218件「前年度比較△27件」）

(1) 生活福祉資金相談員の設置

岩手県社会福祉協議会から補助を受け、生活福祉資金相談員を1名設置し、迅速な貸付業務に努めました。

(2) 生活福祉資金の貸付状況

資 金 種 別	貸付件数 (件)			元年度新規貸付金額 (円)
	累計	元年度新規件数	前年度比較	
総合支援資金 (旧 離職者支援資金を含む)	28	0	△3	0
福祉資金 福祉費 (旧更生資金、障がい者構成資金、生活復興支援資金を含む)	57	1	1	300,000
福祉資金 緊急小口資金 (緊急小口資金 [特例] を含む)	35	7	1	676,000
教育支援資金	197	5	△1	7,587,000
不動産担保型生活資金 [一般]	0	0	±0	0
不動産担保型生活資金 [要保護]	7	0	△1	0
合 計	324	13	△3	8,563,000

(3) たすけあい資金の貸付状況

貸付件数 (件)			元年度新規貸付金額	元年度償還完了件数
累計	元年度 新規件数	前年度 件数比較	100,000 円	1 件
23	2	2		

9 生活困窮者自立相談支援事業（久慈市及び久慈管内町村）の実施

(1) 生活あんしん相談室の設置運営

主任相談支援員 1 名、久慈市相談支援員 1 名、久慈市（町村兼務）家計改善支援員 1 名、町村相談支援員 1 名、就労支援員 1 名を配置し、生活困窮者の相談に応じ必要な情報提供や助言を行うとともに、支援計画を作成し関係機関と連携を図りながら、生活困窮者の自立促進に向けた支援を実施しました。

区 分		元年度	前年度比較
新規相談件数	久慈市	129 件	△13 件
	管内町村	85 件	△5 件
相談延べ件数	久慈市	1,418 件	338 件
	管内町村	1,807 件	△41 件

(2) 支援調整会議の開催

生活困窮者に適切な支援が提供されるよう、本人と一緒に自立に向けた支援計画を作成し、自立の促進が図れるよう、支援調整会議を実施しました。

区 分		元年度	前年度比較
支援調整会議	久慈市	10 回	±0 件
	管内町村	12 回	△2 件

10 久慈地域成年後見センター事業の実施

管内 4 市町村から久慈地域成年後見センター事業の委託を受け相談員 2 名を配置し、成年後見制度の普及啓発や相談支援を実施したほか、法人後見を受任するなど権利擁護の推進に努めました。

(1) 久慈地域成年後見センターの設置運営

- ① 運営委員会の開催（2 回）
- ② ネットワーク会議の開催（6 回 参加者延べ 135 名）
- ③ 市民後見人フォローアップ研修の開催（全 4 回、登録者数 27 名）
- ④ 市民セミナーの開催

期 日	場 所	内 容
6 月 7 日	久慈市文化会館	・参加者：97 名 ・講 演：～住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるために～「楽しく学ぶ 落語で相続・遺言」 ・講 師：きよみ行政書士事務所 生島 清身 氏
10 月 29 日	ひろの水産会館 ウニーク	・参加者：67 名 ・講 演：～介護予防脳トレ漫談～ 「笑って解消！3 大心配事」 ・講 師：大人の学び舎福々舎 福々亭 ナミ子 氏

⑤ 相談支援の実施

区 分		元年度	前年度比較
相談件数	管内全体	209 件	△29 件
	久慈市（再掲）	128 件	△34 件

(2) 法人後見の実施

- ① 受任状況 後見類型 5 件、保佐類型 1 件
（受任延べ件数：後見類型 7 件、保佐類型 1 件、補助類型 1 件）
- ② 法人後見審査委員会の開催（1 回）

11 日常生活自立支援事業（あんしんねっと）の実施

管内 4 市町村社協の基幹社協として専門員 2 名と管内市町村に生活支援員 15 名を配置し、判断能力に不安のある高齢者や障がいのある方々に対して、日常生活の金銭管理や福祉サービス利用の相談援助などを実施しました。

件 数		元年度	前年度比較
利用契約件数	管内全体	105 件	△1 件
	久慈市（再掲）	70 件	△2 件
相談件数	管内全体	3,134 件	92 件
	久慈市（再掲）	2,267 件	40 件

12 地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制づくり事業の実施

コミュニティーソーシャルワーカーを 2 名配置し、関係機関と連携を図りながら、住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制づくりの構築に向け、地域ニーズと資源の状況を把握するため、民児協定例会への参加や地区サロンの集いを実施するなど、地域への訪問活動を実施したほか、生活上の困りごとなど総合的な相談に対応しました。（民児協定例会延べ 57 回、相談対応 20 件）

13 受託事業の実施

(1) 久慈市からの受託事業

- ① 高齢化対策指導員設置事業
高齢化対策指導員を設置し、老人クラブの育成をはじめ、高齢者に対する福祉活動の充実に努めました。
- ② 敬老会事業
敬老会実施主体との連絡調整、補助金交付、案内状作成等により地区敬老会の実施を支援しました。（市内 59 ヶ所、敬老会対象者数 6,207 名）
- ③ いきいきシニアスポーツ大会
ア 久慈市いきいきシニアスポーツ大会の開催
実行委員会を組織し、関係機関と連携を図りながら大会を運営しました。

期 日	場 所	結 果
6 月 27 日	サンスポーツランド	・参加選手 460 名 ・優 勝：夏井チーム、準優勝：山形チーム、 第 3 位：宇部チーム

イ 岩手県いきいきシニアスポーツ大会への参加

選手選考会を開催し選手団を編成するとともに、管内町村老人クラブ連合会等と連携を図りながら大会に参加しました。

期 日	場 所	内 容
9月21日	雫石総合運動公園 陸上競技場	・参加選手 34名 ・順位：総合第6位

④ 高齢者生きがいづくり事業

高齢者の生きがいと教養の増進を図るため、次の事業を実施しました。

ア 産業まつり「老人クラブコーナー」への出品

期 日	場 所	内 容
10月12日 ～13日	アンバーホール会議室	台風第19号の影響により中止

イ 趣味の作品展示即売会の開催

期 日	場 所	内 容
2月8日	市総合福祉センター	・広域管内の高齢者 59名（内、久慈市 37名） から 1,686点出品（内、久慈市 1,383点） ・入場者数：約 500名

ウ 白樺大学の開催

市内全域の高齢者を対象に全体学習や地区学級を実施しました。

期 日	開設地区・場所	内 容	参加者数
10月8日	開講式・全体学習 (久慈市総合福祉センター)	開講式典 講演：「10歳若返る若返り体操」 講師：新井谷 潤 氏	124名
10月29日	大川目地区学級 (大川目市民センター)	台風第19号の影響のため中止	—
11月18日	久慈湊地区学級 (福祉の村茶室)	実技：「茶道教室」 講師：小堀遠州流	27名
12月18日	河南地区学級 (河南市民センター)	実技：「しめなわ講習会」 講師：澤里 聡 氏	58名
1月24日	長内地区学級 (長内市民センター)	講演：「健康づくりハウス」 講師：久慈地域ここのケアセンター職員 サロンたぐきり職員	61名
2月26日	宇部地区学級 (久慈大橋付近高速道路 建設地)	見学：「久慈の高速道路見学会」 講師：三陸国道事務所久慈維持出張所	92名
3月13日	閉講式・全体学習 (山形老人福祉センター)	新型コロナウイルス感染予防の為中止	—
合 計	全体学習 1回 地区学級 4回 計 5回	—	362名

14 居宅介護支援事業の実施

- (1) 指定居宅介護支援事業所として、適切な介護サービスが提供されるよう、要介護認定を受けた利用者・家族の相談を通して、ケアプラン作成等ケアマネジメントの実施に努めました。

件数	元年度	前年度比較
ケアプラン作成延べ件数	3,626 件	194 件
月平均	302 件	16 件

- (2) 要介護認定調査事業を受託し、介護支援専門員による訪問調査を実施し、介護保険制度の円滑な運営に努めました。

件数	元年度	前年度比較
要介護認定調査延べ件数	109 件	1 件
月平均	9 件	±0 件

- (3) 久慈市地域包括支援センターから介護予防支援業務を受託し、要支援の認定を受けた利用者の介護予防プランを作成しました。

件数	元年度	前年度比較
介護予防プラン作成延べ件数	196 件	△2 件
月平均	16 件	△1 件

15 福祉サービスの苦情解決事業及び第三者委員の設置

社会福祉法に対応した苦情解決の体制整備のため、有識者 4 名を第三者委員に委嘱するとともに、苦情解決責任者、受付担当者を配置し利用者からの苦情受付窓口を開設しました。

苦情申し立て件数	0 件
----------	-----

16 福祉基金利息の活用

- (1) 市民や団体等からの寄附を基金に積み立てました。
福祉基金総額 253,242,717 円
- (2) 福祉基金利息を活用し、地域のボランティア活動へ助成しました。
(助成団体 5 団体、助成総額 444,000 円)

17 共同募金運動の促進

共同募金会やボランティア団体等と連携した事業を実施し、共同募金運動の促進に努めました。

- (1) 赤い羽根チャリティパークゴルフ大会の開催 (益金:47,109 円)
- (2) 歳末たすけあい芸能大会の開催 (益金:241,220 円)

18 その他の事業

- (1) 久慈地区広域社協連絡協議会の事務局として、久慈管内社協の連絡調整と事業の推進に努めました。

期 日	事業名	場 所	内 容	参加者
8月2日	役職員研修会	平庭山荘・パークゴルフ場	講演「地域福祉と婚活～その取り組みの成果と課題」 講師：洋野町社会福祉協議会 事務局長 青澤 学 氏 スポーツ交流会（パークゴルフ）	21名
10月12日	台風第19号豪雨災害発生	沿岸地域に甚大な被害	管内の社協では災害ボランティアセンターを設置。約1か月被災者支援に努めた。	応援社協派遣 169人
1月27日	管内市町村長への要望書提出	管内市町村	管内市町村長に要望書を提出し、社協の基盤強化、福祉活動支援等について要望した。	10名
1月29日	広域民生児童委員研修会	アンバーホール	講演：「洋野町におけるひきこもり支援について」 講師：NPO法人エンパワメント輝き 理事長 大光 テイ子 氏 活動報告：「保健所におけるひきこもり支援の取組について」 講師：久慈保健所主任保健師 高原 美江氏	75名
2月18日	家庭介護者の集い	国民宿舎「えぼし荘」	講話：「心も体もリフレッシュ、笑顔で介護」 講師：野田村地域包括支援センター 主任介護支援専門員 小谷地厚子氏 看護師 松川 美穂子 氏 懇談会・入浴、お楽しみ抽選会	28名
2月26日	久慈管内ボランティア交流会	久慈市総合福祉センター	「ふれあいサロンの集い・ボランティアの集い」 講習会講師：「居場所」アレコレNPO法人 いわてNPOフォーラム21 事務局長 中村 恭香 氏	89名

- (2) チャレンジド結っこ・やませの里連絡協議会への協力

久慈地域の障がい者団体・施設、市町村、社会福祉協議会で構成する協議会の事務局として交流会や講演会の開催に協力し、ノーマライゼーションの理念の普及と心のバリアフリー化の促進に努めました。

資金収支計算書

(自)平成31年4月1日(至)令和2年3月31日

■社会福祉法人 久慈市社会福祉協議会

■区分:法人全体

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
大					
事業活動による収支	収入				
	会費収入	10,580,000	10,543,400	36,600	
	寄附金収入	600,000	439,385	160,615	福祉基金等に向けた寄附金の減
	経常経費補助金収入	56,786,000	56,781,060	4,940	
	受託金収入	93,119,000	92,825,589	293,411	
	貸付事業収入	200,000	30,000	170,000	たすけあい資金償還金の減
	事業収入	9,572,000	9,551,320	20,680	
	介護保険事業収入	58,155,000	58,414,184	△259,184	ケアプラン作成件数の増
	受取利息配当金収入	160,000	152,360	7,640	
	その他の収入	580,000	365,872	214,128	温水プール利用料増に伴いカウンタープライズからの補填が不要となったことによる減
	事業活動収入計(1)	229,752,000	229,103,170	648,830	
	支出				
	人件費支出	142,242,681	141,488,771	753,910	
	事業費支出	51,562,758	49,808,146	1,754,612	
	事務費支出	16,529,176	16,182,459	346,717	
	貸付事業支出	201,000	100,000	101,000	たすけあい資金貸付金の減
	共同募金配分金事業費	3,048,000	3,048,000	0	
	助成金支出	10,640,739	10,460,560	180,179	
	負担金支出	122,000	31,000	91,000	
事業活動支出計(2)	224,346,354	221,118,936	3,227,418		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	5,405,646	7,984,234	△2,578,588		
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)	0	0	0	
	支出				
	固定資産取得支出	339,000	338,800	200	
施設整備等支出計(5)	339,000	338,800	200		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△339,000	△338,800	△200		
その他の活動による収支	収入				
	積立資産取崩収入	30,840,000	30,871,865	△31,865	
	その他の活動収入計(7)	30,840,000	30,871,865	△31,865	
	支出				
	基金積立資産支出	100,000	84,525	15,475	
	積立資産支出	37,686,000	32,219,115	5,466,885	財政調整基金(一時借入分)を戻し入れできなかったことによる減
	その他の活動による支出	3,736,000	3,687,840	48,160	
その他の活動支出計(8)	41,522,000	35,991,480	5,530,520		
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△10,682,000	△5,119,615	△5,562,385		
予備費支出(10)	1,400,000	0	1,400,000		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△7,015,354	2,525,819	△9,541,173		
前期末支払資金残高(12)	15,069,000	15,067,651	1,349		
当期末支払資金残高(11)+(12)	8,053,646	17,593,470	△9,539,824		